

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 730 号	氏名	Bhim Gopal Dhouhadel
学位審査委員	主査	森内 浩幸	
	副査	中込 治	
	副査	平山 壽哉	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肺炎球菌の血清型を判定するために nanofluidic real-time PCR 法を確立し、臨床現場や疫学研究に応用することを目指したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 従来の血清型判定法では時間も労力も費用もかかっていたが、この新しい方法は大量処理が可能で時間・労力・費用も削減できる上、高感度かつ定量的な評価もできる画期的なものであり、この手法を用いて臨床検体の解析を行ったことも妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法でベトナムの研究フィールドにおいて採取された臨床検体を解析した結果、血清型の違いによって鼻咽頭に定着する菌量が異なる傾向があること、単なる定着の場合と比べて肺炎を起こした患者では菌量が有意に多いこと、菌量と定着率との相関、複数の血清型の定着の存在と菌間の相互作用などを明らかにし、今後肺炎球菌感染症の臨床や疫学研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肺炎球菌感染症における血清型と病態との関係の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			